

令和4年度

定時総会開催

実施日：令和4年5月24日（火）

去る5月24日、当技士会の令和4年度定時総会が、港区元赤坂の明治記念館で開催されました。その概要をご報告します。



定刻午後3時、事務局より開会を告げ、総会の出席会員数について130（委任状によるもの80）であり、これは正会員164の4分の1以上に達しており、この総会が規定通り成立していることを報告した。

次いで寺田光宏会長から開会に際しての挨拶があり（別掲）、続いて会長を議長として議事が開始された。

第1号議案 令和3年度事業報告並びに同決算報告に関する件

令和3年度事業報告

令和3年度に行われた活動について、事務局より報告された。以下はその概要である。

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

①若年技術者のための支援

・建設業新入社員研修会

・新入社員半年フォロー研修会

・若手社員（3年次～5年次）フォロー研修会

②土木施工管理技士資格取得のための支援

・1級 第一次検定 受験準備講習会 2日間講習

・1級 第二次検定 受験準備講習会

③基礎的な技能習得のための支援

・安全管理講習会

・コンクリート施工技術講習会

- ・環境管理講習会
 - ・基礎から学ぶ土木工学
- ④総合的な技能習得のための支援
- ・現場管理スキルアップ講習会
 - ・現場代理人の折衝力強化研修会
 - ・基礎から学ぶ河川維持管理セミナー
 - ・生産性向上（BIM/CIM）セミナー
 - ・原価管理講習会
 - ・工事成績評定アップセミナー
 - ・コンクリート維持管理技術講習会（上級編）
 - ・まだ間に合う建設業の働き方改革セミナー

講習会については、22回実施し、延べ1,300余の方が参加した。

- (2) 土木工事現場の視察
- ・新東名高速道路 川西工事
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 中止

2. 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

- (1) 法改正等に伴う説明会の実施
- ・建設業の取引適正化に関する説明会
- (2) 入札契約に関する説明会の実施
- ・関東地方整備局入札・契約制度に関する説明会

3. 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR
- ・「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」開催
- 〈オンライン説明会〉12月4日～5日
 〈オンデマンド配信〉12月24日～2月22日
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業 中止
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行
 年4回発行し、会員及び関係機関等に配布
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供
 講習会・見学会の開催案内をはじめ、メールとホームページを活用して情報を提供。

4. 調査研究

講習会テキストの作成研究、講習会受講者アンケートや現場見学会受入れ調査など実施

5. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
 会員推薦の優良技術者118名を表彰した。
- (2) 各種表彰候補者の推薦
 優良技術者表彰の中から12名と理事1名を

(一社)全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦。

6. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議
 関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、(一社)東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

7. 会議

- (1) 総会
 定時総会〈書面表決〉 5月31日
 議決事項
- ①令和2年度事業報告並びに同決算報告に関する件
 ②令和3年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件
 優良技術者表彰 118名
- (2) 理事会
 第1回 理事会 〈書面表決〉 5月18日
- ①令和2年度事業報告並びに同決算報告に関する件
 ②副会長選任に関する件
 ③常務理事を承認する件
 ④令和3年度定時総会を書面表決とする件
- 第2回 理事会 〈オンライン〉 3月29日
- ①令和4年度事業計画(案)に関する件
 ②令和4年度収支予算(案)に関する件
- (3) 監事会 〈対面〉 4月14日
- ①令和2年度事業報告に関する件
 ②令和2年度決算報告に関する件

8. 委員会

- (1) 総務委員会
 (2) 事業運営委員会



事業報告に続き、令和3年度決算報告が事務局よりされた。(令和3年度収支計算書 参照)

次いで、長野監事より監査報告が行われ、議長が議場に諮れば、第1号議案は提案通り承認された。

令和3年度収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
会費収入	33,300,000	33,085,340	214,660
入会金収入	100,000	92,000	8,000
事業収入	4,200,000	4,973,000	△ 773,000
雑収入	100,000	61,169	38,831
当期収入合計	37,700,000	38,211,509	△ 511,509
前期繰越収支差額	7,190,000	7,099,272	90,728
収入合計	44,890,000	45,310,781	△ 420,781

II. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
事業費	28,150,000	25,933,823	2,216,177
管理費	9,050,000	6,790,606	2,259,394
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計	39,600,000	34,124,429	5,475,571
当期収支差額	△ 1,900,000	4,087,080	△ 5,987,080
次期繰越収支差額	5,290,000	11,186,352	△ 5,896,352

第2号議案 令和4年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件

1. 技術力向上に関する支援事業

- (1) 各種研修会・講習会の実施
 - ①若年技術者のための支援(共催) 5回
 - ②1級土木施工管理技士資格取得のための支援(共催) 2回
 - ③基礎的な技能習得のための支援 4回
 - ④総合的な技能習得のための支援 8回
- (2) 土木工事現場の視察 2回
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 1回

2. 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

- (1) 法改正等に伴う説明会の実施
- (2) 入札契約に関する説明会の実施

3. 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行(年4回)
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

4. 調査研究

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

5. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

6. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

7. 会議

- (1) 総会
 - ①定時総会
 - ②臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

8. 委員会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会

事業計画に続き、令和4年度収支予算(案)が事務局より説明された。(令和4年度収支予算(案) 参照)

議長が議場に諮れば、第2号議案は提案通り承認された。

令和4年度 収支予算 (案)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	差異
会費収入	33,300,000	33,300,000	0
入会金収入	100,000	100,000	0
事業収入	5,200,000	4,200,000	1,000,000
雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計	38,700,000	37,700,000	1,000,000
前期繰越収支差額	11,120,000	7,190,000	3,930,000
収入合計	49,820,000	44,890,000	4,930,000

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	差異
事業費	29,050,000	28,150,000	900,000
管理費	9,050,000	9,050,000	0
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計	40,500,000	39,600,000	900,000
当期収支差額	▲ 1,800,000	▲ 1,900,000	100,000
次期繰越収支差額	9,320,000	5,290,000	4,030,000

第3号議案 役員の任期満了に伴う選任に関する件

事務局より、本日開催された理事会において、役員候補者名簿が承認された。同名簿を資料として配付した旨説明、議長より第3号議案を議場に諮れば承認された。以上で議事を終了し、表彰式に移った。

表彰式

優良技術者表彰 第2条第2項 105名 第4項 10名、第5項 2名を代表して
第2項受賞者 鹿島建設株式会社 山元 茂弘氏に、寺田会長より賞状と記念品が授与された。



寺田会長と山元氏

会長挨拶



東京土木施工管理技士会
会長 寺田 光宏

会長の寺田でございます。

定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆さまには、ご多忙のところご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より、当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、長期にわたるコロナ禍のため、我が国の社会経済活動は様々な制約を受けて参りましたが、ワクチン接種の進展や医療提供体制の強化などを受けて、ようやく正常化に向けた取り組みが進みつつあります。

一方、ウクライナ侵攻に対するロシアへの経済制裁や円安の影響などにより原油、木材、鉄鋼などの価格が軒並み上昇し、建設業の経営にも大きな影を落としており、少しでも早く平和に向かうことを願うばかりでございます。

ところで、3月16日に発生した福島県沖地震では、道路や鉄道などの基幹インフラが被災、東北新幹線の全線再開には約1か月の期間を要しました。

今後は、台風や集中豪雨による災害が発生しやすい時期となりますが、「防災・減災」の意識を高く持ち、臨んでいかなければならないと改めて思う次第であります。

想定を超えた自然災害は気候変動が一因であるとも言われており、ご存知の通りSDGsの取り組み

などは、人々が安全・安心して暮らせる持続可能な社会に向けて、業界を超えた社会課題として進められております。

今後とも、我々土木技術者は、脱炭素や廃棄物の削減などの社会的要請を意識しつつ、自らの経験や技術を磨き、社会基盤整備や防災・減災対策といった極めて重要な責務の担い手として、国民の期待に応えていかなければならないと思っております。

当会では、今年度事業において、会員の皆さまの技術力向上のため、各種講習会や現場見学会を実施するほか、関係団体と連携して、法令の改正や入札・契約制度に関する説明会などを開催してまいります。

さらに、建設業の魅力を発信する広報活動にも努めてまいり所存であります。

会員の皆さまには、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本日は「令和3年度事業報告・決算報告」、「令和4年度事業計画案・収支予算案」、および「任期満了に伴う役員を選任」について、ご審議いただき、議事終了後には、永年にわたるご功績を称える「優良技術者表彰」の授賞式を執り行う予定でございます。

本日の総会が円滑に進みますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

新役員紹介



会長 寺田 光宏
(東急建設株式会社)



副会長 中林 雅昭
(戸田建設株式会社)



副会長 齊藤 武文
(清水建設株式会社)

役 職	氏 名	所 属 会 社	役 職	氏 名	所 属 会 社
会 長 (理事)	寺 田 光 宏	東急建設株式会社	理 事	中 村 龍 由	東洋建設株式会社
副 会 長 (理事)	中 林 雅 昭	戸田建設株式会社	//	稲 葉 靖 規	飛島建設株式会社
//	齊 藤 武 文	清水建設株式会社	//	岩 田 耕 一	株式会社ナカノブー建設
理 事	大 田 正 俊	あおみ建設株式会社	//	難 波 正 和	西松建設株式会社
//	大 西 亮	株式会社安藤・間	//	澁 谷 博 志	日本道路株式会社
//	水 野 敏 昭	オリエンタル白石株式会社	//	林 清 一	林建設株式会社
//	吉 弘 英 光	鹿島建設株式会社	//	篠 原 博	株式会社フジタ
//	三 浦 直 之	株木建設株式会社	//	東 福 忠 彦	前田建設工業株式会社
//	小 野 哲 男	株式会社熊谷組	//	奥 村 一 彦	三井住友建設株式会社
//	中 村 俊 智	五洋建設株式会社	//	久野木 哲 也	みらい建設工業株式会社
//	小 川 典 男	坂田建設株式会社	//	坂 田 真 一	個人会員
//	川 端 一 知	佐藤工業株式会社	常務理事	市 川 光 一	東京土木施工管理技士会
//	吉 田 真 悟	大成建設株式会社	監 事	山 口 政 之	ショーボンド建設株式会社
//	松 井 秀 一	大豊建設株式会社	//	長 野 茂 樹	常盤工業株式会社
//	谷 口 和 善	鉄建建設株式会社	//	松 田 雄 二	三井住建道路株式会社

(令和4年5月24日現在)

優良技術者表彰

【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】 105名

国・地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となる者

(氏名五十音順)

氏名	会社名	氏名	会社名	氏名	会社名
阿部 幸雄	飛鳥建設株式会社	小山 友也	株式会社ガイアート	花田 正乃利	日本道路株式会社
有原 正大	戸田道路株式会社	近藤 和夫	戸田建設株式会社	塙 尚幸	五洋建設株式会社
家上 幹雄	東鉄工業株式会社	斎藤 智明	戸田道路株式会社	花輪 雄一郎	三井住友建設株式会社
石井 義京	成友興業株式会社	酒井 義史	株式会社竹中道路	雲雀 真一郎	建装工業株式会社
石田 雅也	株式会社小島組	坂口 史	古久根建設株式会社	弘瀬 雄太	戸田建設株式会社
石松 耕平	信幸建設株式会社	坂本 卓大	日本道路株式会社	廣瀬 称志	五洋建設株式会社
井出 丈志	オリエンタル白石株式会社	佐々木 傑	株式会社ガイアート	福島 茂希	株式会社本間組
伊藤 琢也	鹿島建設株式会社	佐藤 惠一	前田建設工業株式会社	福島 博昭	西松建設株式会社
伊藤 良文	株式会社本間組	佐藤 秀典	常盤工業株式会社	藤城 哲也	飛鳥建設株式会社
稲木 美咲	港シビル株式会社	佐藤 正明	三井住建道路株式会社	藤田 英二	三井住建道路株式会社
今村 成昭	株式会社竹中道路	佐藤 洋一	株式会社NIPPO	逸見 正憲	三井住建道路株式会社
色川 昌利	株木建設株式会社	白川 太	大旺新洋株式会社	堀井 敏孝	戸田建設株式会社
植田 正博	五洋建設株式会社	末松 泰三	株木建設株式会社	前原 圭邦	五洋建設株式会社
内田 勝弘	株式会社ピーエス三菱	菅井 政俊	林建設株式会社	眞柄 拓己	鹿島建設株式会社
江面 圭一郎	株式会社竹中道路	鈴木 智貴	五洋建設株式会社	松崎 修	成友興業株式会社
海老原 弘行	株木建設株式会社	鈴木 秀明	株木建設株式会社	松田 光弘	大林道路株式会社
大久保 周一郎	株式会社竹中土木	鈴木 康秀	オリエンタル白石株式会社	三品 豊治	株式会社NIPPO
大對 典浩	建装工業株式会社	鈴木 律男	株式会社ガイアート	村井 賢吾	東鉄工業株式会社
小笠原 亨	戸田道路株式会社	高木 栄	戸田建設株式会社	村上 知博	坪井工業株式会社
岡部 一治	東亜建設工業株式会社	高橋 健児	前田建設工業株式会社	守重 鶴夫	成友興業株式会社
岡部 真一郎	株式会社ピーエス三菱	滝沢 究	株式会社安藤・間	両川 謙太郎	株式会社ガイアート
落合 太郎	東鉄工業株式会社	滝戸 慎二	飛鳥建設株式会社	矢沼 常男	坂田建設株式会社
乙部 俊也	日瀝道路株式会社	滝山 博史	東亜建設工業株式会社	矢野 毅	大成建設株式会社
金子 英敏	日瀝道路株式会社	田口 高志	大豊建設株式会社	矢部 勇貴	株式会社NIPPO
神田 基	大成建設株式会社	田邊 慎吾	株式会社NIPPO	山口 武士	株式会社熊谷組
菊池 剛	株式会社ガイアート	照澤 裕介	常盤工業株式会社	山田 広樹	大成建設株式会社
北野 奉宏	戸田道路株式会社	内藤 裕収	建装工業株式会社	山田 義彰	株式会社本間組
木村 潤一	大林道路株式会社	中山 岳彦	株式会社竹中土木	山元 茂弘	鹿島建設株式会社
熊澤 樹	成友興業株式会社	奈良 洋治	成友興業株式会社	山元 太	鹿島建設株式会社
熊澤 輝彦	大林道路株式会社	南條 健一郎	鉄建建設株式会社	遊佐 博志	株式会社竹中土木
汲田 晶也	三井住建道路株式会社	南原 晃隆	戸田建設株式会社	横山 純	株式会社本間組
黒川 誠	東洋建設株式会社	西川 真哉	三井住建道路株式会社	吉川 武弘	大林道路株式会社
小澤 恒太	株木建設株式会社	芳賀 俊司	前田建設工業株式会社	吉木 正臣	常盤工業株式会社
小林 哲	戸田道路株式会社	橋本 利行	共立建設株式会社	吉田 幸央	大成建設株式会社
小林 隆	大林道路株式会社	長谷川 誠	東亜建設工業株式会社	渡部 直樹	大林道路株式会社

【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】 10名

土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し、公的機関から表彰された者

(氏名五十音順)

氏名	会社名	氏名	会社名	氏名	会社名
井上 洸也	西松建設株式会社	田中 勉	西松建設株式会社	三好 新	大成建設株式会社
小澤 智裕	鹿島建設株式会社	戸田 泰彰	西松建設株式会社	山本 悟	西松建設株式会社
菊池 玲児	株式会社NIPPO	那須野 陽平	東亜建設工業株式会社		
末原 俊史	株式会社NIPPO	原田 耕司	西松建設株式会社		

【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】 2名

土木施工管理技術を活かして災害復旧作業や調査等のボランティア活動に参加し公的機関等から表彰状、感謝状を受けた者、または個人として上記活動に参加した者

(氏名五十音順)

氏名	会社名
北原 正博	株式会社安藤・間
瀧口 裕介	株式会社安藤・間

優良技術者表彰 受賞者インタビュー

土木技術者の日頃の研究・研鑽を称え、技術者表彰規程に基づき、優良技術者の表彰を毎年行っています。今年度受賞された山元さんに工事のポイントや日々の業務について伺いました。

vol.1 鹿島建設株式会社
山元 茂弘さん (監理技術者 工事課長代理)



受賞：JR渋谷駅改良(北)2工事

<主な工事内容>

- ① 埼京線ホームの山手線ホームとの並列化
- ② 山手線ホームの拡幅・島式ホーム化
- ③ 駅ビル再開発
- ④ 北口乗り換えコンコース拡充
- ⑤ JR線上空の銀座線橋梁架替え

渋谷駅の機能更新と再編・駅ビルの再開発を一体的に行う工事。山元さんの従事するJVは3工区ある施工範囲のうち、新宿方面の北工区を担当。今回対象となった線路切換工事では山手線内回りを約52時間運休(池袋～大崎間)して作業を実施。作業内容は工事桁10連85.0mのこう上・横移動と山手線内回りホームのこう上・拡幅を含む大規模なものだった。

※全掲載写真 JR東日本撮影協力



渋谷駅の未来をつくる大規模工事

JR渋谷駅改良工事は電車を長時間運休して行う大規模な線路切り替え作業が計5回予定されており、本工事はその3回目にあたります。繁華街も近く作業ヤードが限られているので、資機材の搬出入は終電後、駅が閉鎖されてから行われました。また、軌道内の工事でも運休を伴う作業で時間的な制約があり、作業ヤードの確保から時間管理まで総合的なスケジュールコントロールが求められる現場でした。都市の中枢部を「止める」ことは、すなわち絶対に失敗が許されないということでもあるので、プレッシャーがありました。

緻密な準備、チームへの配慮

工事の成功に向け、1年以上かけて施工計画の妥当性を検証するとともに、試験施工による計画内

容・サイクルタイムの確認を行いました。各作業で想定工事の成功に向け、1年以上かけて施工計画の妥当性を検証するとともに、試験施工による計画内容・サイクルタイムの確認を行いました。各作業で想定されるリスクについても、事前に50個以上抽出して対策を検討しました。また、JV各社の応援者に作業内容を素早く・的確に理解してもらうため、作業のマニュアル化や部材の色分けといった工夫を凝らしました。これだけ大規模な工事ですから、様々な人が出入りし作業に従事することを想定して、これまで関わってきた人たちの思いがしっかりと伝わり、皆さんがこの工事チームの一員であると思うことができるよう、密なコミュニケーションを心がけました。

優良技術者表彰を受けて

工事には私だけでなく、多くのメンバーが従事して



います。また、このような難易度の高い工事では、私一人の考えや経験では乗り越えられない課題も多くあります。そのような困難にもメンバーと力を合わせ、一つ一つクリアできたことを誇りに思うとともに、チームを代表して優良技術者表彰をしていただき大変嬉しく思います。そして、今回の工事に携わっていただいたメンバーの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

建設の最前線で働く

親族が建設業界で働いていて、幼い頃から興味がありました。なかでも、街に欠かせないインフラである土木に魅力を感じ、大学では土木を専攻しました。入社してからは現場一筋で鉄道工事を担当してきました。鉄道工事は時間やエリアの制約が多く大変なこともありますが、「自分がつくった」と自信を持って言える「現場」で働くことに非常にやりがいを感じています。本工事はまだまだ続きますので今後もチーム一丸となって確実に遂行していきたいと思えます。



DOBOKU Information

講習会実施報告 (4月~6月)

◆建設業新入社員研修会

日 時：(両日とも同一内容)

第1回 2022年4月5日(火) 9:00~17:00

第2回 2022年4月6日(水) 9:00~17:00

開催方法：オンラインセミナー

【基調講演】

一般社団法人東京建設業協会 会長 今井 雅則 氏
(戸田建設(株) 代表取締役会長)

【実務講習】新入社員の基礎知識

講師 会社の現場監督合同会社
代表 市場 真理子 氏他

【講演】施工管理という仕事とは

講師 清水建設(株)名古屋支店静岡営業所
所長 田和 英夫 氏

【実務講習】「建設業入門、入札体験」

講師 徳倉建設(株) 取締役執行役員
技術本部長 鈴木 正司 氏

参加者：2日合計 242名

◆安全管理講習会 (3unit)

日 時：2022年4月15日(金) 13:00~16:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：久高 公夫 氏 (株)フジタ 東日本支社
安全環境部シニアコンサルタント)

参加者：44名



◆現場管理スキルアップ講習会 (5unit)

日 時：2022年5月13日(金) 10:00~16:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：黒岡 茂雄 氏 (クロズテック株式会社
代表取締役)

参加者：54名